

研究種別	成長戦略研究	
研究課題名	代償性発育等を利用した肥育豚における飼料費削減技術の開発	
研究期間	令和5年度 ~ 令和7年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.2
2	研究内容の新規性	4.2
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.0
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.0
	総合評点	4.1
[コメント] 養豚農家の飼料費に掛かる費用を低減することを目的としており、この点は高く評価できる。 飼料費高騰に苦しんでいるのは現在なので、研究開始時から必要に応じて、成果を適宜、養豚農家に提供する必要がある。 代償性発育という言葉の捉え方にもよるが、本研究課題は最も飼料効率の良い日増体量の設定に応じた飼養管理技術の開発と考えられるので、研究課題名の変更が必要ではないか。 また、説明資料中に飼料用米など安価な飼料原料と書かれているが、安価という言葉は適切でない。自給濃厚飼料などへの変更をお願いしたい。		

研究種別	成長戦略研究	
研究課題名	経腔採卵を活用した高品質な牛体外受精卵生産技術の開発	
研究期間	令和5年度 ~ 令和7年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	4.4
2	研究内容の新規性	4.4
3	研究目標、研究計画の妥当性	4.2
4	研究予算、研究体制の妥当性	4.2
	総合評点	4.3
[コメント] 山梨県のブランド牛である甲州牛の増頭・増産に資する研究課題であり、地域産業の発展や振興に強く寄与できる課題と考えられる。 これまでも研究評価に記載してきた通り、甲州牛に代表される黒毛和種の増頭技術の開発は、山梨県のみならず国の施策にも合致していることから、研究で得られる成果は知財化を図りつつ、前倒しで情報提供する等、対応を検討頂きたい。 近年、繁殖関係のプロジェクトが立ちにくい状況が続いているが、関係各所と連携し、外部資金の獲得に協力頂きたい。 本技術の確立は生産者の期待も大きいため、成果が得られた場合には前倒しで情報提供して頂きたい。		